

# 質問回答書

平成22年10月13日

工事番号	22-A34K
工事名	平成22年度 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 京丹波町有線テレビ(CATV)拡張整備事業 自主放送設備デジタル化整備工事
工事場所	船井郡京丹波町 蒲生、和田 地内(京丹波町役場、京丹波町情報センター)

No	質問箇所	質問内容	回答
1	機器仕様について	設計内訳一覧 (3)機器製作費 ノンリニア編集システム関連 に記載の ・ジョグシャトルコントローラー【EDIUS-JC1P(A)】 ・フェーダーコントローラー【EDIUS-FC1】 はメーカーでは完了商品のこと。同一機能の機器でよいでしょうか。	メーカーでは完了品ではあるが、市場入手可能との情報もある。代替機種としてはジョグコントローラーはノンリニア編集機推奨品のMKB-88forEDIUS。 フェーダーコントローラーはオーディオメーカーの外部ミキサーを流用し、ノンリニア編集機と連携出来るものでの代用も可能とする。 但し、動作実績が確認されているものとする。
2	機器仕様について	II.各設備の主要機器の使用  4.番組自動送出システム に記載のOFDM機器とのEPGデータ連携 とあるが、変調器(OFDM)はこの商品でしょうか。	ミハル通信製とする。
3	機器仕様について	設計内訳一覧 (4)機器製作費 自動送出システム関連 に記載の指定機器 ・K2ビデオサーバーシステム1IN/3OUT300GB:*10【K2-HD-13/K2-DK0300-10】 はメーカー完了商品のこと。 新商品K2-Summit の1IN3OUT仕様のほうが、安価な上にHDDの容量もはるかに大きいとのこと。 K2-Summitを前提としてよいでしょうか	入札は仕様書での機種で入札とする。 変更については落札後、発注監督員との協議により決定するものとする。
4	機器仕様について	機器仕様書 II.1 プロフェッショナル・ディスク記録方式、MPEG-HDとありますが、P2の様なメモリー記録方式を採用しても良いでしょうか。	プロフェッショナルディスク方式限定とする。
5	機器仕様について	機器仕様書 II.1 SxS PROメモリーカード方式とありますが、HCSD-AVCHD方式を採用してよいでしょうか。	小型カメラについてはSxS PROメモリー方式限定とする。
6	機器仕様について	II.2 XDCAM-EXフォーマットカムコーダーとありますが、P2の様なメモリー記録方式を採用しても良いでしょうか。 また、カメラアダプターはインカム・タリー・リターン・GL・カメラリモートに対応すれば、26P仕様以外の方法でも良いでしょうか。	小型カメラと同一の記録メディアでの運用が原則である。XDCAM-EXフォーマットのカムコーダの中で仕様に合致するものを選定すること。 ケーブルについては26PとHD-SDIの1組でカメラ1台制御、運用を前提とする。

工事番号	22-A34K
工事名	平成22年度 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 京丹波町有線テレビ(CATV)拡張整備事業 自主放送設備デジタル化整備工事
工事場所	船井郡京丹波町 蒲生、和田 地内(京丹波町役場、京丹波町情報センター)

No	質問箇所	質問内容	回答
7	機器仕様について	Ⅱ.4 完全二重化の送出系統を有し、とありますが、シングル仕様のAPCを採用して良いでしょうか。また、OFDM機器とのEPGデータ連携が可能であることとあります。連携するOFDM機器の型番を教えてくださいますか。	APCについては原則完全二重化とする。万一冗長構成がとれないAPCの場合送出システムを複数式納入すること。OFDMについてはミハル通信にて想定のこと。信頼性のある上記仕様に対応するメーカーの場合、連携実績があると確認済み。
8	機器仕様について	Ⅱ.4 7型有機ELモニターとありますが、有機ELに拘らなくとも宜しいでしょうか。	有機ELモニターを原則とする。
9	機器仕様について	Ⅱ.4 L字・文字情報送出システムとは、自動送出システム概略図のテロップシステムの事でしょうか。また、設計内訳一覧にDFG-RA200Hとありますが、これは何社製の製品でしょうか。	L字・文字システムとテロップシステムは異なる。文字情報番組を行政複数個所で入力し、専用サーバーにて送出する。また、HD1chと同一内容のダウンコンSD1chに自主放送番組とスケジュールで制御可能なものとする。詳細は特記仕様書を熟読の事。DFG-RA200Hは日立ハイテク製を想定とする。
10	既設システムについて	既設システムとの接続、既設システムの移設及びシステム休止を検討するにあたり、現場の下見を行わせていただく事は可能でしょうか。また、既設システムの資料を頂くことは可能でしょうか。	送出システムは基本休止しない。新システムへの移行は協議の上行いが、休止時間は5時間程度とする。スタジオ・副調設備については協議の上、最短期間の休止期間での施工が原則。
11	保守について	初年度保守が必要な機器、設備の保守費は別途町の来年度予算化を行っていただけるか。(本工事の瑕疵担保には含まれないことの確認)	送出システム中のAPC関連、送出用サーバー、L字・文字システムについては瑕疵担保期間であっても、直接メーカーとの保守契約の必要性は認識している。(24H365Dでの遠隔サポート前提)
12	機器仕様について	Ⅱ.2 一部の相当品品番が一般的でないと思われる。下記の設計書標記型番についてメーカー及び正式型番をお教えてください。  HDテロップパー TitleOneXTJP相当品  L字・文字情報関連機器 DFG-RA200H相当品 BCT=420H相当品 CGT=5相当品 APSC=100相当品 FTN=1相当品	テロップパーのメーカーについては米ハリス社製日本バージョンを想定とする。  L字・文字情報関連機器は日立ハイテク製を想定する。放送用フロントは買取式のもの。APCでのスケジュール制御は厳守。特記仕様書の内容厳守。